

《大園小 学力向上プラン》

令和3年度大園小

児童の願い
教師の願い
家庭・地域の願い

現代の課題 学校・地域の特色

【学校教育目標】
目標や将来の夢に向かって
「できた！」をふやそう

【職員像】
○子どもと全力で向き合う職員
○支え合い、学び合う職員
○謙虚で誠実な職員

【目指す子ども像】
○元気いっぱい
○やる気いっぱい
○やさしいいっぱい

【学校像】
○子どもたちに自信をもたせ、 成長させることのできる学校
○信頼される学校
○安全で落ち着いた学校

【児童の実態】
・明るく、素直な児童が多いが、進んで挨拶する姿勢に欠ける児童もいる。
・まじめに学習に取り組む児童が多い。家庭学習の習慣が十分身につけていない児童もいる。
・運動に関しては、二極化傾向が見られる。
・話を聞く姿勢、話から内容を理解する力が十分身につけていない児童がいる。
・発達段階に応じた表現する力や伝え合う力が十分身につけていない児童がいる。
・読書に対して意欲的な児童が非常に多いが、読む本の偏りが見られる。
・実践力や忍耐力の弱さから、落ち着いて学習に取り組むことが困難で、特別な教育的支援が必要な児童がいる。

【全国・県の学力・学習状況調査結果】
・5年生の国語は県や市より平均正答率が低い。
・5年生の算数は県や市より平均正答率が低い。
・6年生の国語は平均よりも上回っている。
・6年生の算数は平均よりも上回っている。

【確かな学力を身につけた子どもの姿】
☆ 学ぶ意欲があり、学習習慣が身につけている子ども
☆ 基礎的・基本的な知識や技能を身につけている子ども
☆ 問題に対し、学んだことを活用して解決法を導くなど問題解決力を身につけた子ども
☆ 自分の考えを論理的にまとめ、しっかりと表現できる子ども

【実践内容】			
	＜学校＞	＜家庭＞	＜地域＞
基礎基本の徹底	○基礎基本の定着を図る「分かる授業」の実践 ○補足的な学習の充実 ○家庭学習課題（予習）の工夫	○基本的生活習慣の定着 ○学習習慣定着へのサポート ○家庭学習の手引きを活用した家庭学習を進める。	○子どもたちへの学習支援
思考力・表現力等の育成	○各教科における言語活動の充実 ○思考を促す課題や発問の工夫 ○体験活動の充実 ○読書活動推進と学校図書館の活用	○家庭学習（宿題・自学）の徹底 ○親子読書の奨励	○豊かな体験の場の提供
学習意欲の向上	○子どものやる気を引き出す授業 ○一人一人の学びの足跡が見える授業 ○高め合い認め合い支え合う授業 ○理解を深めるICT機器の活用 ○家庭学習課題の工夫 （家庭学習の手引きを配付）	○賞賛と励まし ○通信やホームページを通じた学習の様子の紹介	○地域のもの、ひと等の教材化
学習時間の確保	○日課・行事の工夫による授業時数の確保 ○個に応じた学習内容と学習時間 ○長期休業中の学習補充	○家庭学習の習慣化（家庭学習の手引き）	○学童等との連携による学習時間の確保
教師の指導力向上	○個に応じた指導方法の工夫 ○クロームブックの活用を通じた授業改善 ○特別支援教育の理解を深める研修を進める	○課題を抱えた児童の保護者への支援・連携	○地域人材の活用
指導体制の充実	○学習困難な児童に対し、学校全体での指導・支援体制の構築 ○少人数やTT等の工夫 ○国際理解教育の推進 ○キャリア教育の推進		○学校関係者評価の充実

【学びを支える素地づくり】		
＜学校＞	＜家庭＞	＜地域＞
☆望ましい学級集団づくり（児童間の認め合う雰囲気醸成） ☆学校規律の確立 ☆学習指導方法の工夫（特別支援教育・ICT教育の研究） ☆教師と児童の好ましい人間関係の構築	☆基本的生活習慣づくり ・早寝 早起き 朝ご飯 ☆自立へのサポート ☆読書環境づくり ☆メディア・ゲームのきまり	☆地域行事での社会性育成 ☆地域の方の学校教育への協力 ☆地域の安全確保 ☆育成協等との連携